

## 河野 美砂子 (こうのみさこ)

京都市生まれ。京都市立堀川高校音楽科、京都市立芸術大学卒業。河村美千子、梅田志づ、島崎清、鈴木良一各氏に師事。芸大卒業後、井上直幸氏に師事。82年～83年、ロスアンゼルスにてJ.ペリー氏に師事。P. ニューバウアー氏 (元ニューヨークフィル首席ヴィオラ奏者) と、カリフォルニア、アリゾナ、ニューメキシコ各州をコンサートツアー。その後渡欧、83年～84年ウィーン国立音楽学校のE. ウェルバ教授の歌曲伴奏のクラスに通う一方、フライブルクのピヒト＝アクセンフェルト女史のもとでさらに学ぶ。85年帰国後、ソロリサイタルシリーズ〈シューベルトとシェーンベルク〉を五年間にわたり開催、95年および96年には、そのまとめとして二晩にわたる連続リサイタルを、京都、大阪、東京にて開催した。室内楽の分野では、P.カルミレリ氏 (元イ・ムジチ合奏団主席ヴァイオリン奏者) を始めとする内外のソリストとの共演の他、ベートーヴェン・ヴァイオリンソナタ全10曲、同チェロソナタおよび変奏曲全8曲、同ピアノトリオ全曲演奏会「ベートーヴェンとの対話」等をシリーズで企画演奏した。その他、オーケストラとの共演、通奏低音 (チェンバロ) 等。また、フォルテピアノによる、シューベルトの室内楽演奏会等を開催した。88年淡路島国際室内楽コンクール優秀賞。

06年、ソロリサイタル【モーツァルトに会いたい】を京都芸術センター講堂にて開催、従来とは違った形の音楽会が反響をよび、シリーズ継続が決定した。07年夏に【モーツァルトに会いたい・2】(室内楽特集・「ピアノトリオ」「4手のピアノ曲」) を開催。2008年3月、【モーツァルトに会いたい・3】(マニャックモーツァルト) では、詩人の谷川俊太郎氏の自作朗読やお話とともに、ソロ演奏をおこなった。2008年11月には【モーツァルトに会いたい・4】(ピアノで聞くオーケストラの作品) を、2009年3月にはシリーズ最終回【モーツァルトに会いたい・5】(ピアノコンチェルト) をアルティにて開催した。

97年より02年まで大阪音楽大学大学院 (室内楽) 非常勤講師、2000年より04年まで京都大学医療技術短期大学部 (芸術学) 非常勤講師、95年より現在まで京都市立芸術大学音楽学部 (ピアノ) 非常勤講師。また、短歌にも興味を持ち、92年搭短歌会に入会。95年第41回角川短歌賞受賞。04年第一歌集『無言歌』(砂子屋書房) を刊行。同歌集により第5回現代短歌新人賞受賞。

## 大井 浩明 (おおいひろあき)

京都市生まれ。洛星高校・京都大学を経て、スイス連邦政府給費留学生ならびに文化庁派遣芸術家在外研修員としてベルン芸術大学(スイス)に留学、ブルーノ・カニーノにピアノと室内楽を師事。同芸大大学院ピアノ科ソリストディプロマ課程修了。また、チェンバロと通奏低音をディルク・ベルナーに師事、同大学院古楽部門コンツェルトディプロマ課程も修了した。アンドラーシュ・シフ、ラーザリ・ベルマン、ロバート・レヴィン(以上ピアノ)、ルイジ・フェルディナンド・タリアヴィーニ(バロック・オルガン)、ミクローシュ・シュパーニ (クラヴィコード) 等の講習会を受講。第30回ガウデアムス国際現代音楽演奏コンクール (1996/ロッテルダム)、第1回メシアン国際ピアノコンクール (2000/パリ) に入賞。第3回朝日現代音楽賞(1993)、第11回アリオン賞奨励賞(1994)、第4回青山音楽賞(1995)、第9回村松賞(1996)、第11回出光音楽賞(2001)、第15回日本文化芸術奨励賞(2007) 等を受賞。

現代音楽分野での活動に加えて、近年は歴史的鍵盤楽器による古楽演奏にも力を入れ、初期バロック音楽を中心としたチェンバロ・リサイタル、委嘱新作を含むオルガン・リサイタル、《平均律第1巻》《同第2巻》《フーガの技法》全曲によるクラヴィコード・リサイタル、モーツァルト・クラヴィアソナタ全17曲によるフォルテピアノ・リサイタル等を行っている。2006年秋には、日本モーツァルト協会例会にて寺神戸亮指揮レ・ボレアード (古楽器オーケストラ) とフォルテピアノで協奏曲(KV453) を共演すると同時に、グラスハーモニカ作品(KV356/KV617) もオリジナル楽器(Finkenbeiner, 430Hz) で紹介、その成果により第61回文化庁芸術祭新人賞を受賞した。08年4月から翌年かけて、ベートーヴェン:クラヴィアソナタ全32曲ならびにリスト編交響曲全9曲を、時代順様式別の9種類のフォルテピアノで弾き分けるシリーズ (全13公演) を開催、NHK-BS 等で紹介された他、ライブ盤はENZO/King International レーベルから順次リリースされており、また iTunes Store でも公開中である。09年は、(株)TYリミテッドのサポートプログラムによるバッハ《フーガの技法》CDリリース (ベルギー録音)、寺神戸亮 (バロック・ヴァイオリン) とのモーツァルト:パリ・ソナタ集によるドゥオ・リサイタル (東京・神戸・盛岡)、3日間連続でのバッハ:クラヴィア練習曲集全4巻演奏会 (オルガン/チェンバロ)、シューベルト・最期の3つのソナタによるフォルテピアノリサイタル (大阪) 等を行った。